



## プレスリリース

平成23年12月13日  
内閣府  
原子力政策担当室

### 第12回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合 の開催について

- 内閣府（原子力委員会）は、12月16日（金）に東京、三田共用会議所（国際会議室（3階））にて「**第12回アジア原子力協力フォーラム（FNCA）大臣級会合**」を開催いたします。
- FNCAは、平成11年に設立された、我が国主導でアジア地域の原子力技術の平和的で安全な利用を進めるための協力フォーラムです。（ホームページ：<http://www.fnca.mext.go.jp/>）。FNCA大臣級会合は、アジアメンバー国の原子力担当大臣クラス（我が国からは細野豪志内閣府特命担当大臣が出席予定）が、原子力技術の平和利用に関する地域協力のために、年一回政策対話を行うものです。
- 今次会合では、セッション4において東京電力福島原子力発電所の事故に関する特別セッションを設け、東京電力福島原子力発電所の事故で得られた知見と今後の取組、福島の除染に関する取組、東日本大震災後のリスク・コミュニケーション等を参加国に紹介する予定です。また、大臣級会合の翌日には、福島県南相馬市における除染状況の視察や津波被害の状況を視察する予定です。

1. 主催 内閣府、原子力委員会
2. 開催日時 平成23年12月16日（金）  
※15日（木）は上級行政官会合を開催（プレスオープンなし）  
※17日（土）は除染状況を視察（協力：独立行政法人日本原子力研究開発機構）
3. 開催場所 東京（三田共用会議所 国際会議室（3階））（地図別添）
4. 参加予定国及び機関  
日本<sup>※1</sup>、オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナム

<sup>※1</sup> 日本からは、細野大臣の他に、近藤駿介原子力委員会委員長、鈴木達治郎原子力委員会委員長代理、秋庭悦子原子力委員会委員、尾本彰原子力委員会委員及び町末男FNCA日本コーディネーター等が出席する予定です。

## 5. 報道関係者の傍聴及び取材

### (1) 大臣級会合

**報道関係者の傍聴及び取材は12月16日(金)の開会セッション(9:20~10:00)、及び同日の閉会セッション(17:00~17:30)のみ可能です。**傍聴や取材、カメラ撮り等を希望される報道関係者は、開催前(12月14日(水)15時)までに、以下の問い合わせ先に氏名、所属及び連絡先をご登録ください。

なお、傍聴及び取材は1社につき原則1名(撮影のために入場する報道関係者は除く。)とし、会議室への入室の際には、登録された本人であることが確認できるものを提示していただくとともに、社名入り腕章を着用してください。

〔傍聴希望の受付:三田共用会議所 国際会議室(3階)前〕

### (2) 除染状況視察(福島県南相馬市)

除染状況視察は13:15~14:15(予定)ですが、プレスオープン部分については調整中のため、詳細のスケジュール等について追加連絡をご希望される方は、12月14日(水)15時までに、氏名、所属、電子メールアドレス、電話番号、ファックス番号をご登録ください。

取材に当たっては、担当者の指示に従ってください。なお、取材は1社につき原則1名(撮影のために入場する報道関係者は除く。)とし、登録された本人であることが確認できるものを提示していただくとともに、社名入り腕章を着用してください。

(問い合わせ先)

内閣府政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付 原子力担当  
金子、濱田、加藤、反町、西村  
電 話 : 03-3581-6690 (直通)  
03-5253-2111 (内線44672)  
F A X : 03-3581-9828

(別添1)

## 第12回アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合 プログラム案

平成23年12月16日(金)

### プレスオープン部分(9:20~10:00)

記念撮影

セッション1:開会セッション

1. 開会 & 歓迎挨拶(細野内閣府特命担当大臣)
2. 各国参加者紹介
3. 上級行政官会合結果報告

セッション2:カントリーレポート

セッション3:FNCA 活動報告

セッション4:東京電力福島原子力発電所の事故に関する特別セッション

セッション5:円卓討議1:今後の基盤整備(人材育成と広報)

セッション6:円卓討議2:放射線・アイソトープ応用促進のための更なる協力

セッション7:決議に関する討議

### プレスオープン部分(17:00~17:30)

セッション8:閉会セッション

1. 会合の総括
2. 次回開催国挨拶
3. 閉会挨拶
4. 共同記者会見

## 除染状況視察

平成23年12月17日(土)

協 力 独立行政法人日本原子力研究開発機構

13:15～14:15(予定)のうち一部プレスオープン(調整中)  
ハートランドはらまち農業体験実習館にて除染状況視察(JAEA「除染技術等調査事業」)

## アジア原子力協力フォーラム(FNCA)大臣級会合 海外参加者一覧

### ①オーストラリア

- 1) The Hon. Dr. Ronald HUTCHINGS(ロナルド・ハッチングス)  
オーストラリア原子力科学技術機構(ANSTO)国際関係代表

### ②バングラデシュ

- 1) The Hon. Mr. Yeafesh OSMAN(イエフェシュ・オスマン)  
バングラデシュ科学技術省(MOST)大臣
- 2) Mr. Abu Sayeed Mohammad FIROZ(アブ・サイード・モハンマド・フィロス)  
バングラデシュ原子力委員会(BAEC)委員長

### ③中国

- 1) The Hon. Mr. ZHANG Huazhu(チャン・ファチュー)  
中国国家原子能機構(CAEA)主任付顧問、科学技術委員会副委員長  
中国核能行業協会(CNEA)会長
- 2) Mr. LI Junjie(リ・ジュンジェ)  
中国国家原子能機構(CAEA)システムエンジニアリング部副部長
- 3) Ms. REN Meizhen(レン・メイチェン)  
中国国家原子能機構(CAEA)副事務局長
- 4) Mr. LONG Maoxiong(ロン・マオション)  
中国核能行業協会(CNEA)副事務局長
- 5) Mr. SONG Gongbao(ソン・ゴンバオ)  
中国国家原子能機構(CAEA)国際協力部課長
- 6) Mr. FENG Jingxuan(フェン・ジンシュアン)  
中国国家原子能機構(CAEA)総務部副課長
- 7) Ms. TANG Hong(タン・ホン)  
中国国家原子能機構(CAEA)国際協力部専門職員
- 8) Ms. XIAO Lili(シャオ・リリー)  
中国国家原子能機構(CAEA)事務局

### ④インドネシア

- 1) The Hon. Prof. Dr. Gusti Muhammad HATTA(グスティ・ムハンマド・ハッタ)  
インドネシア研究技術担当大臣
- 2) Mr. Gusti NURPANSYAH(グスティ・ヌルパンシャー)  
インドネシア研究技術担当大臣付特別任命官
- 3) Dr. Agus Rusyana HOETMAN(アグス・ルシャナ・ホエットマン)  
インドネシア研究技術担当大臣顧問(エネルギー・先端材料)
- 4) Dr. Hudi HASTOWO(フディー・ハストウォ)  
インドネシア原子力庁(BATAN)長官

- 5) Dr. Taswanda TARYO (タスワンダ・タリヨ)  
インドネシア原子力庁(BATAN)次官 (研究成果利用・原子力科学技術広報担当)

⑤カザフスタン

- 1) The Hon. Dr. Erlan G. BATYRBKOV (エルラン・G・バトルベコフ)  
カザフスタン国立原子力研究所(NNC)第一副所長  
2) Mr. Almas DISSYUKOV (アルマス・ディシュコフ)  
在日カザフスタン共和国大使館一等書記官

⑥韓国

- 1) The Hon. Dr. CHOI Jong Bae (チェ・ジョンベ)  
韓国教育科学技術部(MEST)宇宙原子力技術局局長  
2) Mr. CHOI Doo Yong (チェ・ドヨン)  
韓国教育科学技術部(MEST)宇宙原子力技術局副局長  
3) Dr. LEE Kibog (イ・キボグ)  
韓国原子力研究所(KAERI)原子力教育研修センターセンター長  
4) Mr. JEONG Honghwa (チョン・ホンファ)  
韓国原子力国際協力財団(KONICOF)プロジェクトマネージャー

⑦マレーシア

- 1) The Hon. Mr. Fadillah Bin YUSOF (ファディラー・ビン・ユソフ)  
マレーシア科学技術革新省副大臣  
2) Dr. Muhamad Bin LEBAI JURI (ムハマド・ビン・レバイ・ジュリ)  
マレーシア原子力庁(Nuclear Malaysia)長官  
3) Mr. Ahmad Wafi Bin Harussani (アフマド・ワフィ・ビン・ハルサニ)  
マレーシア科学技術革新省(MOSTI)副大臣付一等秘書官  
4) Dr. Muhd Noor MUHD YUNUS (モハマド・ノール・モハマド・ユナス)  
マレーシア原子力庁(Nuclear Malaysia)副長官(研究技術部門)  
5) Mr. Mohd Pauzi Mohd Sobari (モハマド・パウジ・モハマド・ソバリ)  
マレーシア原子力規制委員会(AELB)原子力導入部部長

⑧モンゴル

- 1) The Hon. Mr. Manlaijav GUN-AAJAV (マンライジャフ・グンアジャフ)  
モンゴル原子力庁(NEA)原子力技術部長  
2) Ms. Oyun RAVDAN (オユン・ラブダン)  
モンゴル原子力庁(NEA)国際協力部長  
3) Ms. Gantuya DULAANJARGAL (ガンチューヤ・ドウラーンジャルガル)  
モンゴル原子力庁(NEA)国際協力部

⑨フィリピン

- 1) The Hon. Mr. Mario G. MONTEJO (マリオ・G・モンテジョ)  
フィリピン科学技術省 (DOST)大臣

- 2) Dr. Alumanda M. DELA ROSA(アルマンダ・デラ・ローサ)  
フィリピン原子力研究所(PNRI)所長

#### ⑩タイ

- 1) The Hon. Dr.Plodprasop SURASWADI(プロドプラソップ・スラスワディー)  
タイ科学技術省 大臣
- 2) Dr. Kamol BUNDAIPETCH(カモル・ブンダイペッチ)  
タイ科学技術省 大臣秘書
- 3) Dr. Atchara WONGSAENGCHAN(アチャラ・ウオンサエンチャン)  
タイ科学技術省 主任行政官
- 4) Dr. Somporn CHONGKUM(ソンポーン・チョンクム)  
タイ原子力技術研究所(TINT)所長
- 5) Dr. Sirinart LAOHAROJANAPHAND(シリナート・ラオハロジャナパン)  
タイ原子力技術研究所(TINT)副所長
- 6) Ms. Kanchalika DECHATES(カンチャリカ・デチャテス)  
タイ原子力技術研究所(TINT)国際協力課長

#### ⑪ベトナム

- 1) The Hon. Dr. LE Dinh Tien(レ・ディン・ティエン)  
ベトナム科学技術省(MOST)副大臣
- 2) Prof. VUONG Huu Tan(ヴオン・フー・タン)  
ベトナム原子力研究所(VINATOM)所長
- 3) Ms. HOANG Thi Nhung(ホアン・ティー・ヌン)  
ベトナム原子力研究所(VINATOM)国際協力部部長

(別添3)

## アジア原子力協力フォーラム (FNCA: Forum for Nuclear Cooperation in Asia)の概要

### 1. 概要及び目的

積極的な地域のパートナーシップを通して、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、社会・経済的発展を促進することを目指す

### 2. 参加国

日本、オーストラリア、バングラデシュ、中国、インドネシア、カザフスタン、韓国、マレーシア、モンゴル、フィリピン、タイ、ベトナムの12カ国(この他にIAEAがオブザーバー参加)

### 3. 経緯

原子力委員会が主催して開催してきた、近隣アジア諸国の原子力関係者が一堂に会し、情報交換及び地域協力の在り方を議論する場であった「アジア地域原子力協力国際会議」を発展的に改組し、平成11年4月に「アジア原子力協力フォーラム」が発足した。

＜原子力政策大綱における位置づけ(アジア諸国との協力部分)＞

我が国が主体的・能動的に協力を行う国・地域は、地政学的にも経済的にも緊密な関係を有するアジアを中心とする。(略) これらの協力に当たっては、相手国の自主性を重んじ、パートナーシップに基づくことを基本として、例えばアジア原子力協力フォーラム(FNCA)、IAEAのアジア原子力地域協力協定(RCA)といった多国間の枠組みや、二国間及び国際機関を通じた枠組みを目的に応じて効果的に利用することが適切である。

(参考)「アジア地域原子力協力国際会議」は平成2年、アジア地域での放射線利用や研究炉での利用の推進に貢献するために、日本主導で設立された。平成10年、これまでの協力活動全体を総括し、内外との連絡・調整を行う「コーディネーター」を各国から選任し、その下で専門的見地から活動する「プロジェクトリーダー」を協力分野ごとに選任し、より組織的な協力活動を進めることのできるFNCA新体制に移行した。



## 4. 枠組み

### (1) 大臣級会合

各国の原子力を所管する大臣級代表が出席して、原子力技術の平和利用に関する地域協力のための政策対話を行う。なお、大臣級会合を補佐するための上級行政官会合を付設。日本と参加国で交互に毎年1回開催。

#### (開催実績)

- 第1回大臣級会合：平成12年11月(タイ)大島科学技術庁長官出席  
テーマ：「原子力利用の推進」、「原子力安全」、「地域原子力協力の推進」
- 第2回大臣級会合：平成13年11月(東京)尾身科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「持続可能な発展と原子力」、「放射線利用分野における協力のあり方」
- 第3回大臣級会合：平成14年10月(韓国)細田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「人材養成戦略」、「持続可能発展と原子力」
- 第4回大臣級会合：平成15年12月(沖縄)茂木科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「放射線・ラジオアイソトープ利用の社会・経済的効果の増大」  
「持続可能な発展と原子力エネルギー」
- 第5回大臣級会合：平成16年12月(ベトナム)棚橋科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「FNCAの今後のあり方」
- 第6回大臣級会合：平成17年12月(東京)松田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「アジアにおける原子力人材育成に関する協力」、「科学技術と原子力」
- 第7回大臣級会合：平成18年11月(マレーシア)平沢内閣府副大臣出席  
テーマ：「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」  
「原子力エネルギーの広報」
- 第8回大臣級会合：平成19年12月(東京)岸田科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「原子力エネルギーの平和利用への取組みとFNCA活動」  
「放射線利用を中心としたFNCA活動」
- 第9回大臣級会合：平成20年11月(フィリピン)増原内閣府副大臣出席  
テーマ：「原子力発電の基盤整備のための協力」  
「放射線利用のさらなる促進のための協力」
- 第10回大臣級会合：平成21年12月(東京)菅科学技術政策担当大臣出席  
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」  
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」
- 第11回大臣級会合：平成22年11月(中国)和田科学技術政策担当大臣政務官  
テーマ：「原子力エネルギー利用促進のためのさらなる協力」  
「放射線・アイソトープ応用促進のためのさらなる協力」

## (2) 検討パネル会合

平成16年から平成18年の3ヵ年「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割」検討パネル(第1フェーズ)を開催し、アジア地域における長期的な環境問題への対応やエネルギー資源の確保の面から原子力エネルギーの役割を評価した。その結果を受け、第2フェーズとして平成19年から平成20年の2ヵ年「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」を開催し、1)原子力発電分野における人材養成、2)原子力発電にかかわる安全確保のための基盤整備について議論を行なった。平成20年11月にマニラで開催された第9回FNCA大臣級会合では、第3フェーズとして平成21年から「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」を開催することが決定された。

(開催実績)

### ■第1フェーズ:「アジアの持続的発展における原子力エネルギーの役割検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成16年10月 東京
- 第2回 パネル会合 平成18年 1月 東京
- 第3回 パネル会合 平成18年11月 敦賀

### ■第2フェーズ:「アジアの原子力発電分野における協力に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成19年10月 東京
- 第2回 パネル会合 平成20年 9月 東京

### ■第3フェーズ:「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

「原子力発電のための基盤整備に向けた取組に関する検討パネル」

- 第1回 パネル会合 平成21年7月30日、31日 東京

議長: 伊藤 隆彦 原子力委員会委員

- 第2回 パネル会合 平成22年7月1日、2日 韓国

共同議長: 尾本 彰 原子力委員会委員

Mr. SHIN Jae Sik (シン・ゼシク) 韓国教育科学技術部 (MEST) 原子力局 原子力協力課長

- 第3回 パネル会合 平成23年7月5日、6日 インドネシア

共同議長: 尾本 彰 原子力委員会委員

Dr. Taswanda TARYO (タスワンダ・タリヨ) インドネシア原子力庁 (BATAN) 次官(研究開発研究成果利用・原子力科学技術広報担当)

※パネルは4年目以降も継続することとなり、次回はタイで開催予定。

### (3)コーディネーター会合

自国におけるFNCAプロジェクトの実施に責任を持つとともに、協力活動全体を総括して参加国相互の連絡調整を行う役割を持つコーディネーターが各国から1名選任されている。プロジェクトの実施状況を評価・レビューするとともに、全体計画を討議するため、コーディネーター会合を年1回日本で開催。日本のコーディネーターは町末男文部科学省参与。

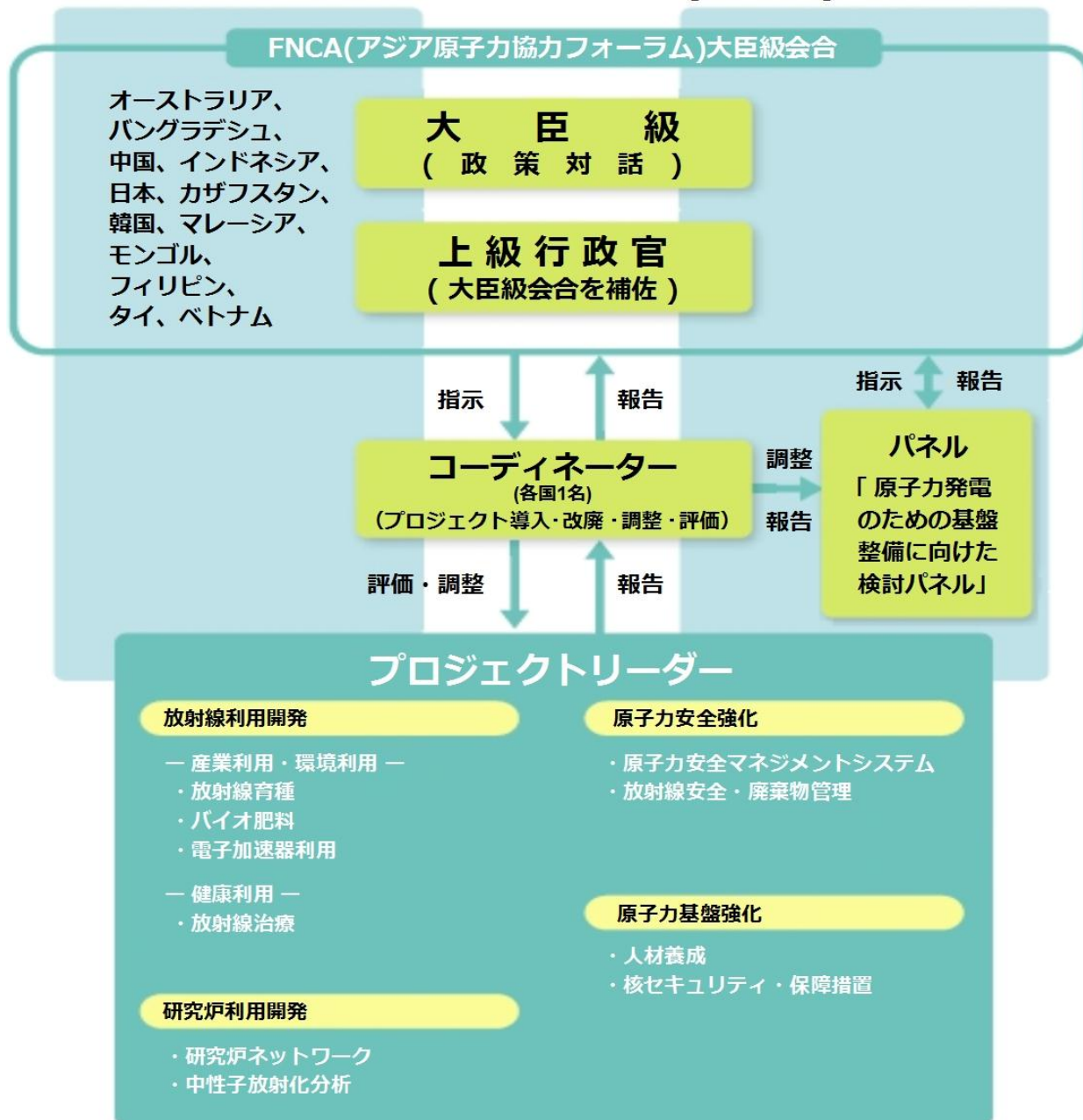
#### (開催実績)

- 第1回 コーディネーター会合 平成12年3月 東京
- 第2回 コーディネーター会合 平成13年3月 東京
- 第3回 コーディネーター会合 平成14年3月 東京
- 第4回 コーディネーター会合 平成15年3月 沖縄
- 第5回 コーディネーター会合 平成16年3月 東京
- 第6回 コーディネーター会合 平成17年3月 東京
- 第7回 コーディネーター会合 平成18年3月 東京
- 第8回 コーディネーター会合 平成19年2月 東京
- 第9回 コーディネーター会合 平成20年3月 東京
- 第10回 コーディネーター会合 平成21年3月 東京
- 第11回 コーディネーター会合 平成22年3月 東京
- 第12回 コーディネーター会合 平成23年3月 福井(中止)

### (4)個別プロジェクトについての協力活動

FNCAは、放射線利用開発、研究炉利用開発、原子力安全強化及び原子力基盤強化の4つの分野で10のプロジェクトを展開している。プロジェクト毎に各国1名のプロジェクトリーダーが任命されている。各参加国のプロジェクトリーダーは、自国におけるプロジェクト活動を実施していく責任を有する。プロジェクト毎に、通常年1回のワークショップ等を開催し、それぞれの国の進捗状況と成果を発表・討議して、次期実施計画を策定する。

# アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の構成



(別添4)

## 会場地図

場所: 三田共用会議所 国際会議室(3階)

【交通手段】:(地下鉄)

東京メトロ 南北線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩5分

都営地下鉄 大江戸線 麻布十番駅下車 2番出口より徒歩9分

